

十津川村の小学校で土砂災害などの出前講座を実施

～平成23年の紀伊半島大水害についての説明や模型で土砂災害を体験～

- 11月29日(金)、十津川村立十津川第二小学校で4年生7名を対象に土砂災害や防災に関する出前講座を実施しました。
- 平成23年の紀伊半島大水害を経験していない生徒さんにもわかりやすいよう、実際の土砂災害の映像や土石流危険渓流や砂防堰堤の模型などを用いて、土砂災害や防災に関する理解を深めていただきました。
- 紀伊山系砂防事務所では今後もこのような活動を通じて、地域の方に土砂災害について自分事化してもらい防災意識を高めていただくことで、流域・地域全体の防災力向上に努めてまいります。

映像を用いた土砂災害についての授業

3種類の土砂災害のうち一番規模が大きいのはどれですか？

模型を使って砂防堰堤の仕組みを解説

砂防の工事には何人くらいの人が必要ですか？

生徒さんの感想

- ・土砂災害はたくさんの土砂があっていつ来るかが分からないから怖いと思いました。でも、砂防ダムがあれば家や橋は守られるからすごいと思いました。
- ・授業の前は自然災害のことについてよくわからなかったけど、今日の授業で習ったのでよくわかりました。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL 0747-25-3111 (代)